



## 研究部会報告

### ● 評価の OR ●

#### ・第 18 回 学生大会

日 時：2月8日(土) 13:30~18:00

出席者：14名

場 所：政策研究大学院大学

テーマと講師：

#### (1)「一対比較デザイングラフの統計的信頼度」

肥田裕子 (日本大学)

木、サイクル、二重サイクルなどの一対比較デザイングラフに対して、(対数)最小二乗法の理論に基づき分散・共分散行列を計算し、項目ウェイト推定値の統計的信頼度(標準誤差)を評価した。

#### (2)「不完全一対比較情報下におけるウェイト推定法の性能比較」

大沼かつ子, 中野隼人 (日本大学)

対数最小二乗法, 二段階法, Harker 法, 関谷法, 幾何平均法, パス代数法, 列要素正規化法, 算術平均法の8つのアルゴリズムの真値推定能力をシミュレーションに基づき比較評価した。真値と推定値の間のユークリッド距離を評価基準とした。

#### (3)「コンテストを演出する審査方式一対数線形モデルによる推定法一」

池田絵吏 (福岡大学)

出場者が順番に発表するコンテストにおいて観客の投票に基づき、コンテストを盛り上げる審査方式を提案した。投票結果データより対数線形モデルに基づき、ウェイトを推定した。シミュレーションにより提案方式を評価した。

#### (4)「ベンチマーク群を用いた効率性評価法」

鈴木洋臣 (日本大学)

比較対象あるいは比較基準となる DMU 群に対して、注目する DMU の相対的な効率値を求める効率性測定法を提案した。学習指導要領で言う絶対評価へ適用する議論があった。

#### (5)「スポーツゲームの意思決定」

鬼頭正浩 (日本大学)

テニス等のダブルス対戦成績データから、個人能力を推定するために、理論値とデータ値の間の距離関数を最小化するアプローチを提案し、現実の試合結果データに適用した。又、複素数値をとる一対比較法ならびに確率的 AHP を提案し、適用法を議論した。

---

### 第 6 回理事会議議題 (15-3-10)

平成 14 年度第 5 回理事会議事録の件

名誉会員推薦の件

入退会承認の件

倫理規定の件

新フェロー推薦の件

平成 15 年度・16 年度役員候補者選任の件

学会賞授賞候補推薦の件

平成 15 年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件

40 周年記念事業の件

ホームページ委員会設置の件

平成 14 年度研究部会・グループ主査会議の件

平成 15 年秋季研究発表会特別企画・予算の件

第 15 回 RAMP シンポジウム予算案の件

平成 14 年度第 4 回 OR セミナー終了及び

収支決算報告の件

平成 15 年度普及関係活動予定の件

---